

# 平成 29 年度 第2回「生活行為向上マネジメント実践者研修

## ～事例検討会～

日時：平成 30 年 2 月 4 日(日)

午前の部 9:00 受付 9:30～13:45

午後の部 13:30 受付 14:00～17:45

\*発表人数により、午前の部のみの開催になる場合もあります。

会場：徳島健祥会福祉専門学校 本館 3階 教室

プログラム：1 事例 45 分程度、 ディスカッション等による検討会  
発表 10 分、 質疑応答 3 分、 グループ討議 10 分、  
結果発表 7 分、 まとめ 5 分

参加対象者：

- ①日本作業療法士協会会員であり、徳島県作業療法士会会員である者。
- ②生活行為向上マネジメント基礎研修修了者。

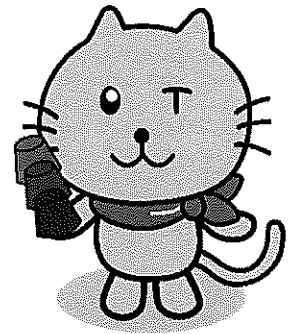
生活行為向上マネジメント基礎研修修了者で、事例検討会での事例発表を行ってみたい人は、まず登録をしてください。

- ・事例発表登録×切：平成30年1月22日(月)
- ・発表用書類×切：平成30年1月26日(金)

事例発表を行うことで、実践者研修修了者となります。

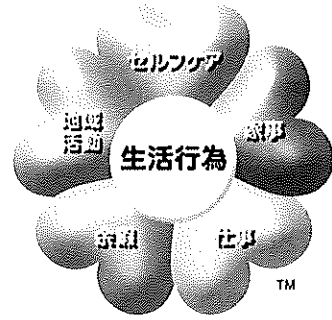
グループ討議のみ参加したい方は、

- ・グループ討議参加×切：平成30年2月1日(木)



- ・28 年度より、「生活行為向上リハビリテーション実施加算」算定要件該当者として、生活行為向上マネジメント基礎研修+実践者研修修了者となります。
- ・28 年度より、生活行為向上マネジメント実践者研修における事例発表で、現職者共通研修「10. 事例報告」の発表ともなります。

※ただし、MTDLP基礎研修が修了していること



平成 29 年度

## 生活行為向上マネジメント 実践者研修(事例検討会)

目的) 生活行為に焦点をあてた介入方法、他職種連携の方法、具体的な生活行為向上マネジメントの実践を学び、作業療法士としてのマネジメント力や個別対応力を高め、継続的な生活行為向上マネジメントの実践に活かす。

運営基準)

① 1 事例あたりの所要時間は 45 分を標準とする。

＜時間配分＞ 事例発表・・・・・・・・・・10分  
質疑応答・・・・・・・・・・3分  
グループ討議・・・・・・・・・・20分  
グループ討議の結果発表・・7分  
まとめ・・・・・・・・・・5分

② 参加者全員が参加するグループディスカッション

＜ディスカッションの内容例＞

例 1) 発表者が挙げた課題について討議する

例 2) 事例審査表及び事例審査基準〔事例報告書作成の手引き(生活行為向上マネジメント)「生活行為の自立を目指して」第 2.0 版  
～日本作業療法士協会HP～〕を活用する。

③ 発表者は決められた書類を作成し、事例検討会時の資料にする。

＜準備する資料＞

A. 事例の概略や生活行為向上マネジメントの経過をまとめた抄録  
・・・A4 2枚程度

1) 基本情報

表題 (タイトル) (50 字以内)

対象者を中心にした表現にし、対象者固有の生活像、人生観、意味のある作業などが垣間見えるようなキーワードを用いて、マネジメント実践であることを示すような表現とする。

例) 2 年ぶりに主婦としての役割を取り戻すことができた事例

## 2) 事例情報

### ①報告の目的 (200字以内)

報告内容の要旨(アウトライン)を示す。具体的には、どのような対象者に、どのような立場で、どのくらいの期間関わって、どのような結果に至ったのかなど。

### ②事例紹介 (400字以内)

年齢、疾患名、既往歴、現病歴、MTDLPの対象となるまでの経緯、社会的背景など、本事例の包括ケア方針に関連する個人因子と環境因子について述べる。(特に、事例の作業歴をここに詳しく示すこと大切)

### ③作業療法評価 (600字以内)

生活行為向上マネジメントシート of 生活行為アセスメントの内容を要約し具体的に文章で記述する。生活行為の目標、検査測定などの評価内容、心身機能・構造、活動と参加、環境因子、予後予測、合意した目標(合意までの経緯)・自己評価を記述する。

### ④介入の基本方針 (200字以内)

目標あるいは課題達成のために、どのような方針で生活行為プランを進めるかを具体的に述べる。チームの総合的援助方針や疾患等のリスクマネジメントが押さえられていることが必要で、作業療法評価から導き出した介入の大筋の方針・方向性・展望などを示す。MTDLP介入を示す記述が必要。

### ⑤作業療法実施計画 (600字以内)

マネジメントシート of 生活行為向上プランの部分を整理して、要点を文章で記述する。基本的プログラム・応用的プログラム・社会適応プログラムに分けて、それぞれ何を目的としたプログラムであるか、プログラムのつながりや多職種連携の介入プランを具体的に記載する。

### ⑥支援(介入)経過 (800字以内)

「どのような経過」を辿ったのかが必要。作業療法評価実施計画に基づいた介入経過となったか?介入による対象者の変化を記述できているか?どの時期に、どんな介入をして、どういう変化が得られたかという経過について要約できているか?プログラム変更・追加の場合や予期せぬ事象があった場合の理由を示しているか?MTDLP介入によって獲得した生活行為が、その後も継続されるような、または拡大・発展できるような連携が図られているか?などの視点を押さえて介入経過を記述する。

⑦結果（500字以内）

介入によってもたらされた変化（結果）を記載する。目標が達成されたか、主に、介入によって得られた評価指標（数値）や自己評価の数値の変化を記載する。課題解決や合意目標の達成ができたか？介入時と介入終了時の比較が記述されているか？支援終了時における自己評価およびフィードバックについて記述しているか？介入の結果によって、対象者がどのような生活状況に至ったか記述されているか？などの視点を押さえて結果を記述する。

⑧考察（700字以内）

「結果」で述べた対象者の変化に関する解釈を記述する。実践したMTDLPは、対象者の生活行為に影響する課題や生活にどのような変化（効果）をもたらしたのか、あるいはもたらさなかったのか、これらはどのような理由によるものか等を、利用した評価指標の変化との関連から考察する。介入終了時点で、対象者にとってなお残された生活課題が整理されているか、またそれらの解決策（支援策）が示されているか？加えて、今回のMTDLP介入から見えた施設内課題や地域課題についてもアセスメントする。

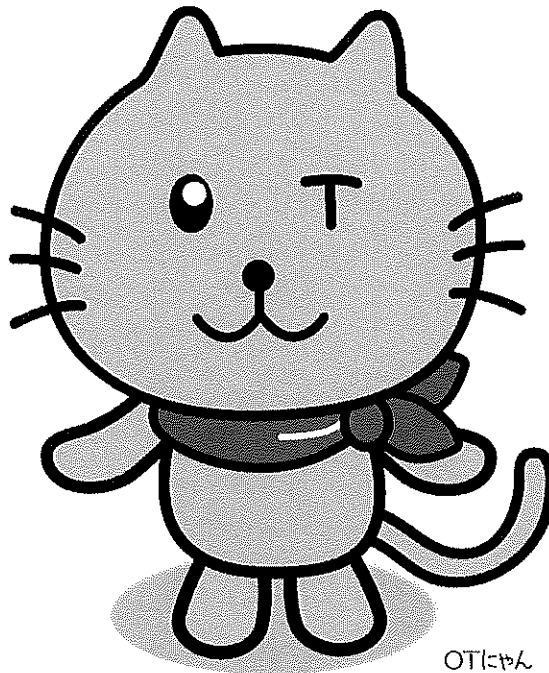
B. マネジメントシート・・・A4

例）生活行為課題分析シートなどを参考資料として加えても良い

C. 発表時は、パワーポイントなどを使用。

\*作成配布資料以外の写真などの資料を含めてほしい。

④発表者・グループ討議参加者にて、ディスカッションを行う時間を設けます。



平成29年度 第2回 (平成30年2月4日分)

「生活行為向上マネジメント 実践者研修 ～事例検討会～」

事例発表者用 申込用紙

社会福祉法人 健祥会 吉野川リハビリセンター 河野 裕美子 行

FAX : 0883-26-3011

E-mail : y.kawano-ot@outlook.jp

- ・FAXの場合は、送信表は不要です。申込用紙のみFAXしてください。
- ・メールの場合は、必要事項を記載の上、送信してください。

事例発表者が決まり次第、連絡いたしますので、必ず、連絡のつく連絡先を記入してください。発表に必要な書類は、1月26日を〆切にします。

まずは、発表の申し込みからお願いします。

所属：		TEL：	
		FAX:	
会員番号	氏名	基礎研修 受講日	メールアドレス

申込〆切：平成30年1月 22日 (月)

平成 29 年度 第 2 回 (平成 30 年 2 月 4 日分)

「生活行為向上マネジメント 実践者研修 ～事例検討会～」

グループ討議参加者用 申込用紙

社会福祉法人 健祥会 吉野川リハビリセンター 河野 裕美子 行

FAX : 0883-26-3011

E-mail : y.kawano-ot@outlook.jp

- FAX の場合は、送信表は不要です。申込用紙のみ FAX してください。
- メールの場合は、必要事項を記載の上、送信してください。

発表は今回行わないが、グループ討議に参加したい人、どうぞ参加ください。

所属 :		TEL :
		FAX :
会員番号	氏 名	

申込〆切 : 平成 30 年 2 月 1 日 (木)